



病児保育室 あんず通信 Vol.36 2018年12月号

あんず通信では、クリニックの感染症流行状況や、季節ごとの情報などを毎月ご案内しています。

【感染症だより】

～溶連菌感染症について～

このところ上位で流行しているのが、溶連菌です。溶連菌はよくある感染症で、一生のうちに何度も罹る人もいます。主な症状は38℃以上の発熱と咽の痛みです。主な症状の他には、舌の表面が赤くブツブツしたり（イチゴ舌）、首のリンパ節が腫れたり、体や手足に赤い発疹がでたりします。発疹はかゆみを伴うこともあります。これらの症状が出ない場合もしばしばあります。溶連菌は飛沫感染によって流行しますので、一人見つかり、次々に発病者がでます。溶連菌の症状は風邪と似ていますが、ウイルス感染である風邪とは異なり、罹った場合には抗生物質治療が必要です。何故、溶連菌に罹る度にいちいち抗生物質治療をするかといいますと、合併症を起こすことがあるからです。合併症は全員に起こるわけでは無いですが、リウマチ熱や急性腎炎を起こします。これらは、溶連菌に罹患後10日から2週間後に起こります。リウマチ熱では関節痛や高熱、神経症状のほか、心内膜炎から心臓弁膜症の後遺症がでることがあります。また、急性腎炎の場合、急にむくみが出たり、肉眼的血尿（尿の色はココア・コーラやウーロン茶、赤ワイン色など）がみられます。いずれも、入院治療が必要な病気です。

～風疹について～

メディアでも報道されているように、今年は風疹が流行しています。小児は、定期予防接種で1歳と就学前に行うMRワクチンを受けていれば、めったに罹患することはありません。しかし、未接種の方や罹患歴が不明な方は注意しましょう。妊娠を希望する成人やその家族の風疹予防接種費用の一部が助成されます。詳しくは市のホームページをご覧ください。

文責： 清水マリ子

表：11月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	118
2	溶連菌	54
3	リンゴ病	17
4	アデノウイルス咽頭炎	9
5	RSウイルス感染	2
6	水ぼうそう	1

★病児保育室あんずからのお知らせ★

H30年4月から、**空き状況**をWebで確認出来るようになりました。スマホ・携帯電話でも同様に**しみずクリニック**の予約ページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご注意下さい。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

予約をキャンセルされる場合、時間外の留守番電話でも構いませんので、必ずご連絡をお願い致します。一人でも多くの方にご利用できるようにご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック